二月十六日發行
定價一ケ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
磐城新聞社
發行人　鈴木竹次郎
印刷人　鈴木竹次郎
磐城郡平町字北目町二十六番地
電話平五六番
發行所　磐城新聞社
磐城郡平町字北目町二十六番地
電話平五六番
廣告料金　一段一行金拾錢　一頁金六拾錢
定價　一ケ月金六拾錢（郵稅拾五錢）

九々いらず珠算に就て

吉田松雄

十五

向乘數を求むる掛算

二

單位の外は全部九の場合の掛算である、

相乘せんとする一つの數より他の一つの數の補數を引いたものに二つの數の補數の積を其の桁數だけ單位を下げて加へればよい

例　一

97×98＝

一、實から法の補數二を引いて九五とし

補數の積2×3＝6と二桁下つて加へる

此の時のバン面九五〇六

即ち答である

例　二

95×96＝9120

計算法

實九五から法の補數四を引き九一とし

補數の積5×4＝20の九九に依り二桁下つて單位として加へる

此の時のばん面九一二〇

となる、即ち答である

例　三

997×994＝991018

計算法

實九九七から法の補數六を引いて九九一とし

補數の積3×6＝18の九九に依り三けた下つて加へる

此の時のばん面九九一〇一八となる、即ち答である

其の他開平法であるとか又は平方根を求める方法、或は直角三角形の三邊の關係であるとか、利息算等の簡便法、求積算、度量衡等澤山ありますが此等專門的算法は次回餘暇の有りし場合引いたものに二つの數の補數の積を其の桁數だけ單位を下げて加へればよい

例　一

97×98＝

一、實から法の補數二を引いて九五とし

補數の積2×3＝6と二桁下つて加へる

此の時のバン面九五〇六

即ち答である

例　二

95×96＝9120

計算法

實九五から法の補數四を引き九一とし

補數の積5×4＝20の九九に依り二桁下つて單位として加へる

此の時のばん面九一二〇

となる、即ち答である

例　三

997×994＝991018

計算法

實九九七から法の補數六を引いて九九一とし

補數の積3×6＝18の九九に依り三けた下つて加へる

此の時のばん面九九一〇一八となる、即ち答である

二、次に實五と法二を見合せ5×2＝10の九々に依り實五の有る桁の直ぐ上を單位として一〇を加へる（即ち二桁上八の有る桁が一〇を加へる個所である）

此の時の盤面九四五、即ち答である

例　二

86×81＝6966

一、實八と法八を見合せ8×8＝64の九々に依り實の八の桁より直ぐ上の桁を一の單位とし六四を置く

此の時の盤面六四八六となる

剩數乘法として例題二つを以て御説明した方法の反對に計算するのである、

首位の一の場合は末位は掛けたのであるから反對に首位より掛け合はせて答を得るのである、此の方法は後に述ぶる逆乘法と略一致するのであるから十分に練習すればよい

例　一

45×21＝945

は一を省いた省法二と實の相乘積を一桁進めて一の位として順次加へればよいのである

計算法（實四五、法二一）

一、實四と法二を見合せ4×2＝8と九々に依り實四の直ぐ上を一の單位として加へる

此の時の盤面八四五となる

剩數乘法の應用方

法の首位の一なる場合は前述の如くなるも此度は法の末位の一なる場合の掛算に就いて

法の首位の一なる場合は末の末位の一なる場合の掛算に就いて

剩數乘法として例題二つを以て御説明した方法の反對に計算するのである、

首位の一の場合は末位は掛けたのであるから反對に首位より掛け合はせて答を得るのである、此の方法は後に述ぶる逆乘法と略一致するのであるから十分に練習すればよい

例　一

45×21＝945

は一を省いた省法二と實の相乘積を一桁進めて一の位として順次加へればよいのである

計算法（實四五、法二一）

一、實四と法二を見合せ4×2＝8と九々に依り實四の直ぐ上を一の單位として加へる

此の時の盤面八四五となる

習慣性に就て

前松佐嘉

二）

慣がも少し進んだ範圍の服從とか、正直とか、感謝とか、ふがき主として精神界に屬することは父母長上の教訓に依るもので前者の如く無意的に發成されるものでない、隨つて父母長上の教育に骨が折れるのである

言ふまでもなく子供は元來その性質上極めて粗野なものであり、且つ悪い事に慣れ易いものであるから放任した自然にまかせて良習慣の構成されるものでない、呪んや未だ良習慣の確立しない所の幼い子供に何うして悪慣に陷るのである、

子供の教育に父母長上の管理を必要とするは此の點に大いに理由のあることで、たとひ意識的生活が確立した時代と雖も自己の良習慣の確立しない所の幼い子供に於ては周密なる管理を必要とするのである

習慣の多くは同じ事を何回となく反復練習する所に出來る、

自然と出來上るものであるから、それが完成されて仕舞ふと理解の力を添へる必要がなく、殆ど無努力で行はれるの境地に到るのである、

『お言葉、あんまり、もつたいなさすぎまする……』

と聲を濕らした、ぼろつと熱いうれし涙が膝の上におちた

源三郎は、急にたまらなくいぢらしさを覺へた

『小花どの』

といつて、女の肩に手をそへた

『一緒になつて下さるか』

小花は

『うれしうございまする』

と涙ぐんで、男の胸に顔をあてると肩を、胸をふるはせた

×

その翌日の暮れ方

信州左久馬追分宿なる我家へ源三郎と小花は愛らしい鐵之丞や、婆やのおむらや、召使ひたちににぎやかに迎へられて、旅の草鞋を脱いだ

金も力もある武家を、見なれてゐる眼からみると、身共などは土臭い田舍武士、間抜けて見えるだらう…』

いつしか春の日はとつぷり暮れて行燈の灯もなごやかな宵だつた

源三郎はうつむいてゐる小花の、つややかな髷をながめた

『あんまり、もつたいなうございまする、こんな、けがれはてた女郎風情のあたしが……』

小花は疊に眼をおとした

『身共は、そなたの過去の氣兼するものは一人もないことを今更開かうとは思はぬ、名も今のまゝの小花でいゝ、昨夜のことも一時の出來ごころと思うてもらつては困る、どこまでもと堅

たのだが、そんたなら實の親のやうに伴の面倒を見てくれると思ふ。身共も幸せになれる』

源三郎はうつむいてゐる小花の、つややかな髷をながめた

『あんまり、もつたいなうございまする、こんな、けがれはてた女郎風情のあたしが……』

小花は疊に眼をおとした

『夢にもそんなふうにおもいましたなら罰があたりまする、このやうにあついご恩をうけた身が……』

小花は、えん然としていつた

いつしか高髷に結ひあげすつきりと、化粧をすましてゐた

『死んだ親父のわづかな遺

産だが食ふにこまるやうなことはない、小花どの、どぞとみづからさげすまずに居てほしい、身共とて、伴うだらう身共と一緒に暮らす氣はないか』

小花はだまつてさしうつむいた

『三才になる伴鐵之丞、ふびんな思ひをさせたくない』

『死んだ其吉どのとやらの事もそなたとしては、思ひ

も殘つてゐることだらう。そなただけが生きのびたのも運不運、やむを得ないまはりあはせだと思ふ。加島に樓たとて、そなたが死んだことと信じてゐるだらうしよしまたそなたが生きてゐることが知れたとなつてその時はその時で、よき思案もござる。惡いやうには取計らはぬつもりだ』

源三郎はふと口をつぐんだが

『あさつては追分に着くので、一緒になつてくださらぬか、それとも外に思ひつめた男でもあるのだらうか』

『まア、なんとして、そのやうなことが……』

と、顏をあげて、うち消すやうにいつた小花、すぐまた眼をおとして

ので、後妻をもらはずにゐて、思ひ

ず思つてゐる身のけがれなく

練習などをする場合誰でも最初は樂譜と首引して種々の音符を諳記するに勞から苦心するが練習を重ねる中に少しの除得もなく走らすのが習慣となり一つ熟慮を要さなくなる、樂譜に眼をそゝげば腦髓の指揮を俟つ迄もなく指が自から動くやうになる、隨つて斯うなつた場合は頭腦はもはや個々の運動を指揮するに及ばず全く無意識の間に動

之を譬へて言ふとピアノのいて仕舞ふのである

吾々の習慣も亦これと同樣最初に難しいと思はれた事でも何回となく反復練習するに從つて鍵盤の上に指を易々として行はれる樣になる、殊にいまだ惡癖のついて居ない子供に於ては一層容易いわけであるから良習慣の構成といふ事は

事が

講談　浪人長屋

日岐武志作

(15)　月草道子畫

塲宿の宵

尾山篤二郎

○

應接間さんざ待たして秘書が來る

金柳

天地のしたしき原に人出でて春來にけりと畑打つ見ゆ

社會の今日

2月17日

△詩人バイネ歿す（一、六五六）△伊太利の統一（一、八六一）△威海衛占領（明治二八）△滿蒙新國家建設の委員會設立（昭和七）

謝感築新
萬年筆大賣出し
舊二日より景品呈上
記念金文字御名入無料
お氣に召す迄金ペン交換
五ケ年絶對責任付
定價一二圓以上
品種豐富……
平紺屋町角公園前
角忠
佐々木商店
電話二三三番

急告
今回東京某大書店の整理品新古書籍及額椽を澤山に入荷致候、就ては來る舊正月二日より十日迄大投賣致候間何卒二度とないこの機會を逸がさず澤山と御買求の程願上候
平町五丁目（大工町通り）
新古書籍額椽類　袋屋書店

電話開通
平局五七七番
入山坑務所

大景品付
時計眼鏡と大賣出し
移轉改舗記念の爲時價の二割安にて提供
舊正月二日、三日…二日間
二丁目
根本時計店
電話六〇七番

紅茶代用品！
即席しるこ
何處の御家庭でも熱湯さいあれば即席に出來ます
尚一分間炊は一層風味良なります。
在來の晒あんとは全々違ひ日向臭くありません。
小豆の天賦の風味芳香と榮養分を完全保有されて有ます。
一袋正量三七五瓦入（約卒人分）金三十錢
贈答品函入　金一圓
製造發賣元　日進堂
平町田町　電話一八六
新草餅を始めました。

夜診療
胃腸病専門
内科　胃腸病科
花柳病科　性病科　皮膚科
松村病院
胃腸性病科
（平町南町電一〇七番）

産婦人科
花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

産婦人科
外科
藥局
產婆看護婦
生徒募集
平南町
平產婆看護婦學校
校長　清野キヨ子
電話三〇七番
△申込成るべく早く
△新學期開始四月八日より
△卒業兩科通して一ケ年

產婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　玄番彌一
平町新川町十九番地
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

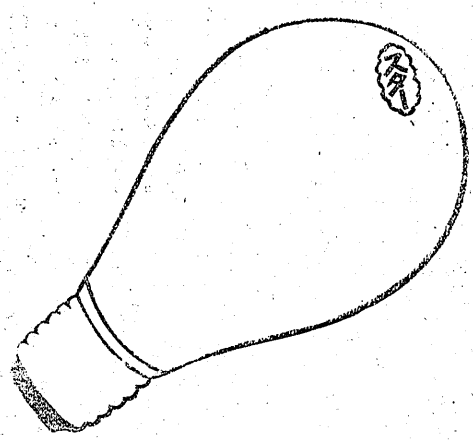
氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、
專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
（入院隨意）

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します
親切丁寧……料金は極めて低廉です
姙產婦の御家庭　御病人の付添　炊事や雜用　お留守居番　年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二（電話呼六五二）
上原家政婦會
會主　產婆　上原通子

良品廉賣に勝る
商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
久釜屋商店
磐城國平町字北目町二丁目
電話九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は久の生命なり

平町田町（電話五二三）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　小兒科
藥劑士　赤羽花柳病科
竹內咽喉科
菊地耳鼻科
內科
外科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

ガス入電球の値下
次々又値下



十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三　大谷時計眼鏡病院
電話三十九番

夏井川が上部を流れ 隆起したお城山台地

杉平から土器木灰の發見で

先住民族關係其他興味ある研究

磐女教諭酒井英吉氏長男磐中三年生英世君は性來化石に興味を持ち同校高清水教諭磐女山口教諭に地質學考古學及び化石に就て指導を受けてゐたが去る十三日夕刻磐女校前の杉平台地から土器木灰等を發見した。磐中校附近の高月臺及び公園附近の藥王寺臺等には嘗て曲玉土器、石器等が發見され『日本石器時代地名表』にも採錄され居るが櫻ヶ岡、杉平、舊城跡等からの發見は最初であり、又その上部が河川の運んだ礫層、粘土層があるので山口教諭と協同研究の結果左の如き平町の臺地成因及び先住民族の遺跡分布等の興味ある事實が判明した

城山の臺地の基礎をなしてゐる第三紀層の上部に約二十米内外の洪積層が推積して居り、各所少しく異なつてゐるが下部より約十米の砂礫層（川砂利様のもの）その上部に粘土を含む約三米の砂礫層あり、その上部に二米内外の塵埃（ロボ）層があるこれが今度發見されたる木灰、骨片（獸骨の粉末）及び縄文土ノ等の包含層でその上部に尚約三米の粘土層、砂礫層があり、表土はその上を蔽つてゐる。その分布區域は磐女校前の杉平臺地から佑賢學舎南附近及び二ノ丸一帶で、東は丹後澤、西は胡麻澤を境として分布が不明である。

それでそのロボ層の堆積當時は城山臺地は現今よりも低く、先住民族が住み、後夏井川等がその上部を流れ、その後隆起して現在の如き地形が出來た事になる

平町消肥高

十萬貫二千六百圓

平町に於ける昨年中の金肥消費高は大豆の三千五百五十貫價格百十六圓を筆頭に總計十五種十萬貫、此の價格二千六百七十圓である

目的を達成して 水害豫防組合解散か

近く負債償還協議

平、内郷、飯野一町二ヶ村よりなる水害豫防組合は新忠臣に關した傳説等の參考川、古川が縣費支辨行に編入實現されその存立目的も達成されたので早くも解散問題が議せられてゐるが同組合には新川町、月見橋附近のコンクリート並に長橋までの堤防改修工事に際して負債もあるので來る二十一日これが償還其他についての協議會を町會議室に開く事になつたので解散問題は早晩實現されるものと觀られて居る

九年度臣工個所調査

豫算決定を前に—て

目下土木監督所で集計

平土木監督所では來年度臣救費算決定した場合の參考資料として目下管内道路、河川其他の改修個所を取纒め縣に報告する事になつたが八年度中の事業費三十二萬圓より幾分増額するであらうと

豫算増大

來廿日内示會

平町では目下昨年度豫算編成に大童で青沼町長も各課から提出された合計約四十萬圓に對し慎重査定中で大体來る廿日内示會を開き廿六日頃町會を開く事になるであらうと云はれて居るが各種事業費などの關係から三十三萬圓の今年度に比し約三十五六萬程度に膨張するではないかと觀測される

磐炭健保表彰

磐炭の健康保險組合では一年間乃至七年間の健康保持者五百五十七名に對し明十七日正午より淺野記念館に於てこれが表彰式及び記念品贈呈を行ふと

津武中興史蹟調査

縣教育課では建武中興六百年に際し現在國史發的に逐い手を出した、と

橋は延長幅巾共五間の鐵筋コンクリート製のものであると

保姆募集

縣社會事業協會では今回十名の保姆を募集する事になつたが希望者は來月十五日迄平町役場に申出られたいと

東北帝大生沼田君

滿洲新京大同學院入り

見事採用試驗に合格

北帝大法學部沼田一夫（磐中二十六回、二高卒）君は先般仙台に行はれた滿洲國新京大同學院の入試に應じたが此程合格の通知があつた、尚同學院は就學期間半年で卒業後は滿洲國の新官吏として採用されるもので本縣下の合格者も二三名を越へぬものと豫想され君の秀才は羨望の的となつてゐる

小名川橋

竣功

近く渡初式擧行

工費三千五百圓で昨年十一月着工の小名川橋は此程竣功したので今十六日小林土木監督所長が踏査したが同橋は延長幅巾共五間の鐵筋コンクリート製のものであると

投槍

投書歓迎

◇町民やら近郷近在から吸收された人々の右往左往に本町通りはさながら火事場の如き巷と化した昨二日市あの混然たる十字路にあつてゴーストップの掛聲も勇ましく指揮した警察官一幕、又田舎人古來の惡癖の存在にこそ清腔の謝意を表せざるを得なかつた、虎視眈々私に爪を磨いてゐた數多罪惡の跳梁も阻止した事であらう、然しそれに對して民衆の交通道德は？

◇それにそ日頃當局が鳴物入りで徹底に努むるも馬耳東風、左側通行を辨へぬ關係からあの人混みの中一番を望む措置として誠に感謝に堪へぬ處

（二丁目一商人）

◇町民と交通道德

◇註文を受ければ早速乘物を飛ばす世智辛い此の御時世であれば互交通道德を充分理解し整然たる歩道を作り上げ樣ではないかと特にお目淚しに預つた事は所謂寛厳宜しきに適した御買物中だつた女學生のオーバーのポケットより六圓二十三錢在中の財布を窃取した外三丁目旭屋質店前二丁目佐川洋服店前通行人より合計十五圓二十錢のスリを働き平署に檢擧された

◇昨賣り出しの混雜中十五日平區中島刺事より笠原、小松は各五十圓、齊藤は三十圓、志賀は二十圓の略式罰金に處された

◇スリ　小名濱町瀧本英吉（四）假名—は昨十四日午前十一時四丁目鶴屋洋品店で買物中だつた女學生のオーバーのポケットより六圓二十三錢在中の財布を窃取した外三丁目旭屋質店前二丁目佐川洋服店前通行人より合計十五圓二十錢のスリを働き平署に檢擧された

◇電　好間村大字北好間字推木手高野長松妻キタ子（三二）は昨十五日午後三時頃隣家に用達しに行くと稱して家出した儘歸宅せず情夫である赤井村福島炭鑛雜夫齊藤春吉とململ合せての結果らしく今十六日長松から平署に捜査逮捕願ひ出た

平を中心とする 櫻と避暑地紹介

鐵道當局の腹案成る

第七回水鐵管内聯合協議會は名案として採用東鐵水は此程同倶樂部に於て開催鐵では此が紹介をなし紅葉されたが後藤平驛長の提案季には平驛でも仙鐵管内のしは二萬四千三百三十六件松ケ岡公園の櫻、川前の大越＝舞木間、須賀川＝二本松間、廣野＝小高間と同樣二、三等二割引をなすこと紅葉、海水浴場の紹介に努力されたい

出入十九萬餘圓

平町『五軒の一六銀行』

昨年中の營業成績

平町五質屋の昨年中の貸出一千三百八十六件、六千百八十五圓であつた

賣初異聞

母が盗んで、伴が運び 背負ひ籠の娘は待つ

超尖端的リレー式萬引

昨舊二日の買ひ初めに擧げられた幾つかの萬引中、云ふ樣なのが大部分らしい平町へと乘り込んだが刻々嘯かまことか、一つの安鍋が稀には最初から犯意たつの人出にゴツタ返しの混雜ぶり、此の日を當て込んで を見た彼女は『我事既に成飛んだ餘剰價値に有りつかれり』と許り、黄色い腐ぐを買ふのに三十分も待たされたムシヤクシヤから『えうと企んだ不了簡者もあるが、一時間の變調と云ふのや、週期的の變調に祟られたらしい

×

仁井田浦附近のさる農婦四十一歳（特に名を秘す）などは此の日早曉自身は股引地下足袋の輕裝で十三の娘と九つの伴とを引き具し平町へと乘り込んだが刻々の人出にゴツタ返しの混雜を見た彼女は『我事既に成飛んだ餘剰價値に有りつかれり』と許り、黄色い腐ぐを窃はして人知れず會心の笑みを洩らした

×

先づ地押し的に、と云ふ考へから（？）一丁目から始め、後は髪を顧はせ乍ら願を襟深く埋めて僅に額くのみの傍から、彼少年は『阿母あ嘘つきだなあ、あすことあすこと皆んなで氣となつて手當り次第に引き歩いた、そして品物は盗んだ母からマントを冠つた伴へ、伴から姉の背負ひ籠へとコンビネーション極めて宜しく收獲は漸く籠に滿たんとした。時なるかな、やをら現れた見知らぬ中年男から『阿母あ一寸待て』それは近在のおんつあんに扮した平署の警官であつた

×

——其の二軒きり、外に無いか……

五軒だつべえ……』

襷、鉢巻きで狂奔する店員の顔を窺つて虎視眈々たる母の待機の時間は其の都度決して短いものでは無かつた、二回から三回、三回から四回と、母の成功を待つ彼少年は寧ろ豫期以上の收獲にそろ〳〵引き上げ度くなつた

『阿母あ、もう澤山だから歸つべえ……』

鼠を咥へた猫の表情で再たび出入十九萬餘圓

運轉手を欺して 白河から平町へ

舞ひ戻つた高野三郎

數々の餘罪を吐く

平町鍛冶町無職高野三郎（三三）は去る二日田町玉屋洋品店事室橋玉吉方に至り代金は家の方から貰へとアンダーシャツ其他合計十一圓六十錢分を持つて立ち去つたので同家では再三親方に請求したが五年前家出したものであるとて取り合はぬ爲平署から各署に手配捜査中昨夜紺屋町炭屋旅館から連行取調べの結ゝ一昨十四日逃走先の白河町本町田崎自動車部松本某と往復卅圓の約束で平町に來たがそれも支拂はぬ外玉よりに於ける九圓餘の無錢飲食、原町浪江での窃盗數件を自白したが同宿の運轉手松本も意外な強か者に驚いて居た

浚辱未遂喚問　双葉郡浪江町高瀬大工職原田常雄（二七）が去る十二日夜半同地内國道筋高瀬橋附近に於て同町料理業古川大二郎方酌婦佐々キノ（二八）假名—の歸路を邀し暴行を加へんとして膝折部に全治約一週間の傷を負はせた事件に就き今十六日平檢事局三堀檢事は被害者を呼出し取調べを行つた

尼子に優良車

デラックス購入

平町二丁目尼子タクシーは從來最新型セダン二輛を常置し迅速をモットーとして各方面にサービスして居たが今回更に走行輕快無比の34年式デラックスセダンを購入し貸切りの需めに應ずる事となつたが地方稀に見るの優良車丈けに早くも乘用者間に好評を博してゐる

憤怒の日雇青年

殴つた義兄を刺す

平區で略式罰金に處さる

双葉郡浪江町大字權現堂字新町日雇目黒寅雄（二二）は去る二十四日自宅で姉の夫なる二十五圓を取得し昨十五日平區關口判事より略式罰金五十圓に處された

潜り桂庵に罰金　住所不定無職佐藤幸之丞（四八）は昨年九月其筋の免許無く茨城縣多賀郡華川村早川春子外五名を千葉縣船橋町方面に住込ませ手數料として合計八十五圓を取得し昨十五日平區關口判事より略式罰金五十圓に處された

賭博　小名濱町大字定西一五一竹細工職齊藤鶯吉（六二）同荷馬車輓業小松順清（四二）同十六荷馬車輓業笠原安太郎（三四）神谷村大字中神谷字天神八農志賀市藏（五二）の四名は去る十日午後三時半頃小松方で賭博をなし昨

踏判定廣告
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

日出　六、二七　日没　五、二四　月出南　七、五八　月没後　九、〇四　滿潮前七、三五　後七、五〇　干潮前　一、一〇　後　一、三〇

十七日

日	四	月	一	舊	土曜
女宿	執	佛滅	己未	十月	二
日	七				新

▲一白の人　思惑外れな生じ易き日金樂閉店普請見合せ▲二黑の人　腰をすえて實直に働けば漸次に吉兆を呈す▲三碧の人　金詰りを生じて存分思ふの働き出來ざる日▲四綠の人　辯口理屈は達者なれども實功の伴はざる日▲五黄の人　外分や殺戮を思はず質素に身を持すれば吉▲六白の人　物事にちうちよせず心を勵まし奮起すれば大吉▲七赤の人　一時の煩ひはあれど努力の功は忽ち現はる▲八白の人　思案に過ぐれば何事も出來ず奮起肝要の日▲九紫の人　萬事愈の如く行はるゝ幸福日開店普請吉

新車御披露
三十四年式デラックスセダン入車致しました。貸切の御用の節は是非御試乘を御願致します。
最新型セダン揃ひました
電話六四〇番
尼子タクシー

磐城鐵工機械同業組合

今流行のレコード
東京音頭　昭和音頭　福島音頭　萬歳音頭
スキー行進曲　希望の首途　春のエレヂー　急げ幌馬車
其他新譜レコード各種
金光堂時計店
電話一九五番
特約店　タクビ　ヤビロコ

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』

齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
内郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院